

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年5月29日）

1 主な報告等

(1) 改正労働安全衛生規則への対応について

委員から、警察は職務上、屋外での活動や術科訓練もあるので、熱中症対策にしっかり取り組む必要がある。最近は以前と比べて暑さの質が変わっている気がするほか、労働環境衛生意識も高まっている。対暑計画を立てるにあたっては、過去に警察官がどのような状況で熱中症になったのかを分析し、今後もデータを蓄積していけば大きな財産にもなる。沖縄は熱中症による救急搬送も多い。労働災害が発生すれば、職場も監督責任を問われることになる。作成したフローを活用して、熱中症のおそれのある職員を見つけた時には何をすべきか、どう対処するか、県民の模範となれるよう的確に対応してもらいたい旨の発言があった。

(2) 水難事故防止に向けた病院・大学との連携協定の締結について

委員から、遊泳中に誤って水を飲んでいないのに肺に水がたまるという症状は、あまり知られていないと思われる。発生を覚知した警察が情報を提供し、病院が原因を、大学が予防策をそれぞれ研究し、その成果を警察からショップなどを通じてレジャーを楽しむ方々に周知するサイクルは、世界的に見ても珍しいことではないか。水難事故防止につながることを大いに期待したい。有益な情報が得られれば、県内の消防や海上保安庁など、関係機関にも共有するほか、県外、国外にも伝えてほしい旨の発言があった。

(3) その他

警察本部から、いよいよ警衛警備の本番が近づいてきた。警察としては、御対象の御身辺の安全確保、歓送迎者の雑踏等による事故の防止、適切な交通対策に組織をあげて全力を尽くしていきたい旨発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について
- ・ 公安委員会関係報告
- ・ 沖縄県留置施設視察委員会委員の決定について

(2) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について